



自分の声でインターネットにアクセスする「Vポータル」。簡単に言えば、0570-0033-03に電話をかけて、インターネット上にある音声ファイルを、「はい」や「いいえ」という声で操作しながら楽しむというものだ。そして、この新しいメディアVポータルは、今まさにインターネット黎明期のような様相を呈し、さまざまなVポータル専用コンテンツが生まれようとしているのだ。ただし、そこは新しいメディア。まだ、誰もどのようなコンテンツがキラコンコンテンツになるのか、正解をつかめないでいる混沌とした状況だ。ここVポータル企画道場では、そのようなカオスの世界にあえて身を投じる、勇気ある「道場破りたち」を紹介していく。

Vポータル企画道場!

映画の予告編が聞ける 「シネマ スタークラブ」

今回登場する道場破り「東芝 iバリュー クリエーション社」は、電機メーカー東芝の社内カンパニーで、おもにモバイルコンテンツなどの制作を手がける企業だ。現在では路線検索とグルメ情報を融合させた人気サイト「駅前探検倶楽部」などの開発運営を行っている。その東芝 iバリュー クリエーション社提供のVポータルコンテンツが「シネマ スタークラブ」。聞きたい映画の名前を電話に向かってしゃべると、その映画の予告編が聞けるという音声コンテンツになっている。もしかすると、「ただ予告編が聞けるだけ?」と思ってしまう人もいるかもしれないが、これは「シネマ スタークラブ」の一部の機能でしかない。このコンテンツの中心になるのは実はiモードで提供される「シネマ スタークラブ」なのだ。iモードで「シネマ スタークラブ」を見ていたら、どうしても映画の予告編が聞きたくなったという場合に、iモードの画面から直接電話をかけられる「Phone to」機能を使ってVポータルコンテンツにアクセスするという仕組みだ。

今月の道場破り!

【東芝 iバリュー クリエーション社】

今回の道場破りは、iモードの人気公式ページ「シネマ スタークラブ」を運営する東芝 iバリュー クリエーション社だ。同社は、東芝の社内カンパニーで、おもにモバイル向けコンテンツの開発を手がけている。



事業開発部
青木行一さん

iモードの公式サイト「シネマ スタークラブ」を1人で切り盛りするマルチプレイヤー。彼がいかに「ラク」をするかが、Vポータル導入のキーになったとか。

更新作業担当
箕みゆきさん

1人でがんばっている青木さんを見るに見かねて、最近「シネマ スタークラブ」の更新作業を手伝っている。

まずは音声に適したモノだけをVポータル化していく

ちなみに、iモードコンテンツの「シネマ スタークラブ」は映画情報ポータルで、現在の会員数は約6万5000人。iモードの映画関連コンテンツとしては「TSUTAYA online」などに次いで人気のあるコンテンツとなっている。ここでは全国の映画館の上映スケジュールから映画音楽の着信メロディー、映画スターの待ち受け画面、映画館の割引クーポンなどを月額100円で提供している。

これだけ豊富なコンテンツがあるのなら、それらをすべて音声に変換して、そのままそっくりVポータルだけで完結する「シネマ スタークラブ」を作ってもいいようなものだが、なぜ、現在のVポータル版「シネマ スタークラブ」は「映画の予告編」だけなのだろうか？ 特に全国の映画館の情報スケジュールなどは音声で提供されると便利だと思うのだが。

この疑問に対して同コンテンツの開発責任者である青木行一さんは「はじめから、Vポータルだけで完結するコンテンツ

を作るつもりはありませんでした」と語る。続けて「テキストで見て最適なもの、映像で見て最適なもの、写真で見て最適なものなど、映画に関する情報と言っても数多くあります。『シネマ スタークラブ』はそれらすべての情報がそろっているポータルにしていきたいと思っているのです。そうしたとき、テキストや写真の情報はiモードサイトで提供するのがいいし、映像はFOMAのiモーションなどで提供してもいいでしょう。音声となるとやはりVポータルが最適なプラットフォームだと思います、そこで予告編の音声を提供することにしたのです。これによって、『シネマ スタークラブ』は音声もテキストも映像も提供できるポータルになるので、iモードだけ、Vポータルだけという区切りにはしなくなってきたんですね」と説明してくれた。

また、「なぜ全国の映画館上映スケジュール」というキラーコンテンツを音声化しなかったかについては「映画館のスケジュールの場合、東京都の港区の映画館といった感じで、行きたい映画館を探して、その上映スケジュールを聞くという形になりますよね。そうすると、東京都>港

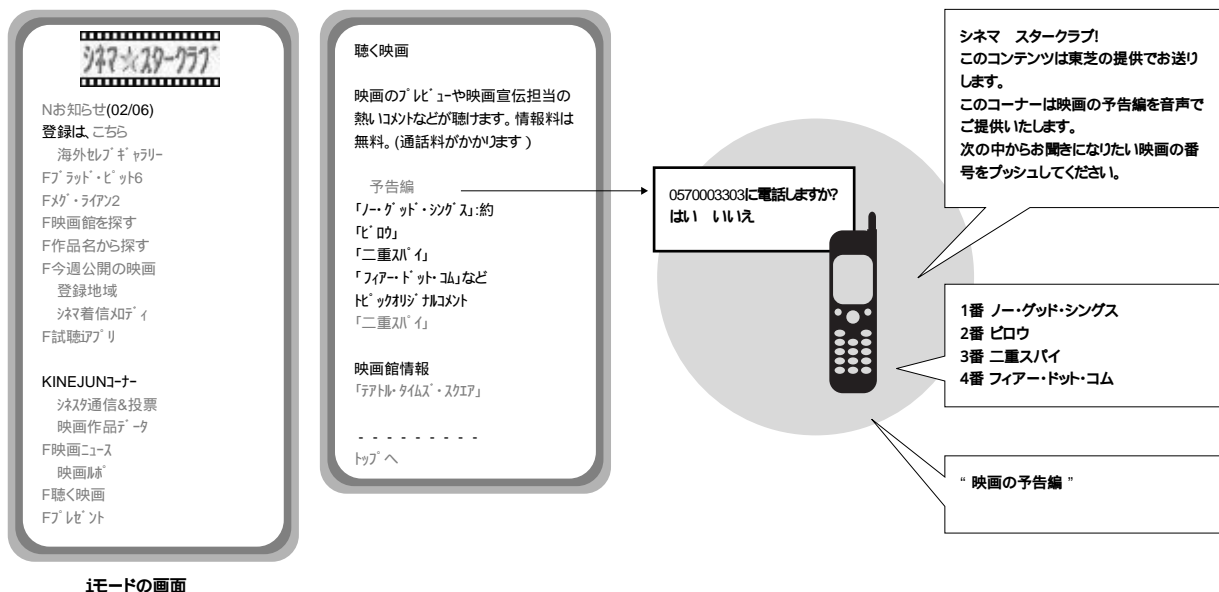
区とドンドン階層が深くなっていく。Vポータルの場合、階層を深くしていくとユーザーにとってはしゃべる言葉が多くなる。つまり、音声認識で誤認識も多くなるし、ユーザーにとって便利なものではないと思われ、上映スケジュールをVポータルに上げませんでした。また、そもそも多くの映画館は電話で上映スケジュールを知らせるサービスを行っていますから、わざわざVポータルで提供することもないだろうと思ったのも一因です」と青木さんは説明してくれた。

コンテンツアップや更新は「1人でできる!」が大前提

これまで述べてきたことから、「予告編が聞けるだけ」という、Vポータルの部分だけを見るときわめてシンプルなコンテンツになっている「シネマ スタークラブ」だが、シンプルなコンテンツになったのはほかに大きな原因がある。

先の青木さんによると「実は、iモードサイトも含めて『シネマ スタークラブ』は、ほぼ僕1人で運営しています。ですからコ

映画の予告編を音声で配信



iモードの画面から「聴く映画」を選択。「予告編」を選択すると、Phone to機能でVポータルへでんわがかかり、好きな映画の予告編を聴ける。今後は「オリジナルコメント」で、スターのインタビューや「映画館情報」で割引引きクーポン情報などを提供することも予定されている。

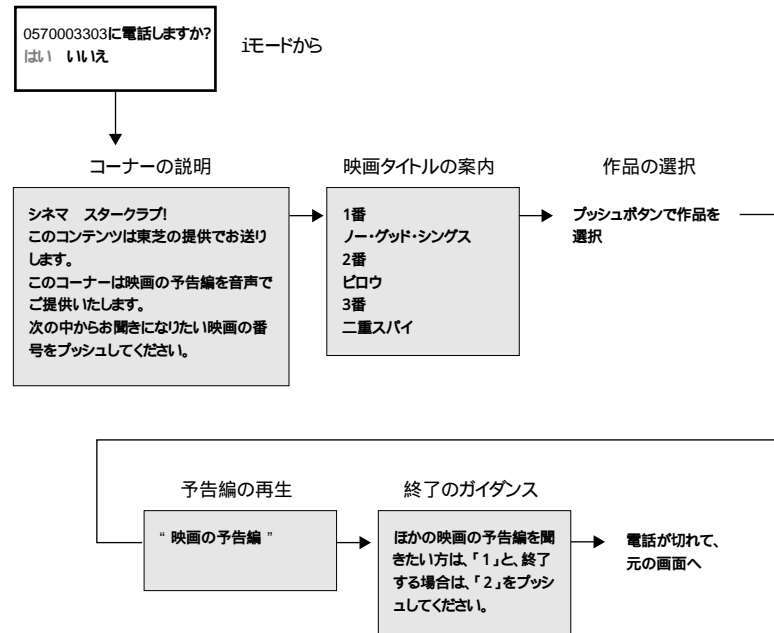
コンテンツを追加する場合にも、『あまり手のかからないもの』という点が結構重要な項目なんです。そのためにVポータルでのコンテンツがシンプルなものになっているとも言えますね。Vポータルはよほどコンテンツの内容を複雑なものにしない限り、ほとんど運営に手がかからないプラットフォームですから、『シネマ スタークラブ』の運営スタイルに合っていたというのがコンテンツを提供する際の決め手でした。」とのことだ。

実際に、Vポータルにコンテンツを提供する際に青木さんがしている作業は、まず映画配給会社から予告編の音声データを借りてきて、それをVポータル用の音声データに自分のパソコンで変換する。後は、簡単にVポータルコンテンツが作れる「Vポータルエディター」を使って、サーバーに予告編の音声データを追加するだけだ。

「Vポータルでの音声コンテンツ、つまり映画の予告編の音声データは自分で作っているわけではなく、映画配給会社から提供してもらっているので、コンテンツ開発費もゼロです。Vポータルを使ったことで、お金も手間もかかずにiモードサイト『シネマ スタークラブ』に音声コンテンツを追加することができました」と青木さんはVポータルの効果を強調してくれた。

ただ、「シネマ スタークラブ」をVポータルでの人気コンテンツにするには、多くの予告編がコンテンツとして上がっていることが前提となる。となると、この「予告編集め」に、かなり手間がかかるのではない

「シネマ スタークラブ」のコールフロー



コールフローはきわめてシンプル。ユーザーが操作するところは、映画のタイトル選択くらいしかない。

のだろうか。

青木さんは「予告編を集めるのに苦労はないですね。というのも、最近は映画のプロモーションの方法が多岐にわたっていて、テレビのスポットをバンバン打つだけではダメだという意識が映画配給会社にあるので、積極的に予告編を提供していただいています。また、インターネットによるストリーミングでの予告編提供となると、特に大手の映画配給会社では、コピーされた場合、著作権保護などはどうなるのかと、あまりいい顔をしないことが多いのですが、『電話でのサービスなのです』と言えば、早くコンテンツを提供してくれるのです。つまりVポータルがコピーすることが難しい電話でのサービスであるということで、映画配給会社各社の協力を仰ぎやすいというのだ。

とってはいるものの、Vポータルでの「シネマ スタークラブ」を、ただ予告編が聞けるコンテンツにとどめておくことはしないと語る。

「たとえば、映画情報で音声に適しているものと言えば、スターの生声などではないでしょうか。ハリウッドスターと言っても、本当に有名な人でなければ、テレビなどで会見の様々を見ることはできません。そこで、Vポータルでコアなファンのいるスターの来日記者会見の様々などを音声で提供していくということも将来的には考えています。また、映画レビューを一般の人がVポータルに吹き込んで、それをまだ映画を観ていない人が聞けるというような仕組みも作りたいですね。テキストのレビューではなく、『あの映画、おもしろかったよ!』と友達と話すようにVポータルに電話をする。そんな姿のコンテンツが作れるといいですね」と青木さんは言う。

もし、青木さんが1人で運営しているというハードルを越えて、この試みが発現すれば、「シネマ スタークラブ」はiモード同様、Vポータルの世界でも、大人気コンテンツになっていくのではないだろうか。

将来は音声映画 コミュニティーに!

青木さん「手間をかけない」



さまざまなモバイルコンテンツを手がける東芝 iバリュー クリエーション社の根城。実は、同じフロアに東芝の音声認識システムにかかわっている部隊が入っている。Vポータルの音声認識の精度を彼らに何うと、「電話でここまで正確な音声認識ができるのはスゴイ」とのことだった!

続々道場破り中!



今日現れた道場破りたち紹介!

新しいメディアVポータル。現在、このメディアに殴り込んでいるコンテンツプロバイダーが続々現れている。このコーナーでは今後続々と殴り込んでくる“道場破り”たちを紹介していくぞ。これからVポータルを盛り上げていくのはこの人たちだ!

【株式会社メディアンスフリー】

ITビジネス事業、セールスプロモーション事業分野でのトータルプロデュースを行っているメディアンスフリーでは、(株)新通が運営する映画情報専門サイト「シネマナビ」と組んで、このサイトのコンテンツを「Vポータル」のサービスとして提供している。

「Vポータルは、ユーザーにとって簡単に入りやすいインタラクティブな情報ツールメディアとして、今後非常に可能性のあるものだと感じられました。ユーザー側のVポータルサービスの簡便さが当社の事業シーンでの活用で、より広がりのある事業が



私たちが作ってます!
メディアンスフリーは「Media-TV」というインターネット放送局も試験運用中!
URL <http://www.mediatv.ne.jp>

山形放送が提供するVポータルコンテンツは「山形放送女子アナウンサー ここだけの話」だけだ。もともと、山形放送は懸賞コンテンツなどをVポータルで提供しているが、「アナウンサーの声をナマで聴いてもらいたい」という思いからアナウンサーのコーナーを作ることに。Vポータル担当の斎藤繁也さんは「これまでもホームページでアナウンサーの独り言コーナーを作っていました。でも、アナウンサーは声のプロ。このコーナーはVポータルで展開したほうが受ける」とVポータルコンテンツを提供の動

機を説明してくれた。また、同社はラジオの番組も制作しているので音声コンテンツに関してはかなりのノウハウがある。それを活かしたコンテンツ作りも進めたいとのことだ。



私たちが作ってます!
山形放送は自社のサイトに力を入れている放送局なのだ。
URL <http://www.ybc.co.jp>

【山形放送株式会社】

【株式会社東京新聞ショッパー社】

首都圏の買い物や生活情報を提供するフリーペーパーを約170万部を発行。ウェブサイト「東京新聞ショッパーWEB」も展開し、その人気コーナーに「世界ふしぎ発見!」のレポーターでおなじみのタレント、川幡由佳さんがカメラ付き携帯を使って、日常をつづる“blog”がある。その音声版といえるのが、同社のVポータルコンテンツ「川幡由佳便り」だ。いざ始めてみると、川幡さんのファンサイトの掲示版などで、「今日は少し声のトーンが低かったので、かぜがみかも」というような書き込みがあり、行間ならぬ

声間の奥深さはテキストの比ではないと感じたそう。今後は、東京新聞ショッパーWEBの「都心デパートニュース」などから、ピックアップしたデバ地下情報+ を、Vポータルに展開する予定。



私たちが作ってます!
私、川幡由佳が、おしゃべりを吹き込んでいます。
URL <http://www.shopper.jp>

企業コンサルティングなどを手がける同社は、その経験を活かしたコンテンツ「中島誠二のビジネスの達人」を用意している。中島誠二は、同社の代表取締役で、企業の経営戦略コンサルタントとしても有名な人物だ。

コンテンツの内容はたとえば、「今週の企業人」と題したコーナーで、成功した企業人をピックアップし、その人が成功したキーワードを解説するといったもの。こういったコンテンツが日替わりで用意されているのも特徴なのだが、中島氏によると「週1の更新でもいいかな」と現実的なことを

考えていたのですが、人をひきつけるには自分にとって“危険”なことをしなければ自分を戒めて、大変なのですが日替わりコンテンツにしました」と話してくれた。



私たちが作ってます!
音声ガイダンスも中島氏が担当。4回も録音し直すほど気合いが入っている。
URL <http://www.q-b.co.jp>

【株式会社クォーターバック】



皆さんのアイデアをVポータルコンテンツにするぞ!

先月号で新しいコンテンツ開発に着手することを宣言した我らが「Vポータル企画道場」では、どんなコンテンツを作るんだ? となるとなかなかアイデアが浮かばない。そこで、読者諸氏からVポータルコンテンツのアイデアをつのったところ、ありがたいもアイデア持参で道場破りがやってきたぞ。道場破りはなんと慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科の石田剛朗さんだ。彼は、Vポータル立ち上げ当時コンテンツコンテストに応募、その内容が一部の審査員にオオウケしていたと言う人物。しかも今回は社会人、学生からなる外部プレーンを引き連れて参上。今回は、彼らがアイデアを搾り出している議論を中継しながら、新しいコンテンツはどのようなものにすればいいのかを考えていくぞ。

今のVポータルは “カたい”コンテンツが多すぎる

石田さん(以下、石) 新しいVポータルのアイデアをどのようなものにすればいいか、とりあえず今のコンテンツのラインナップを見てみると.....情報提供系が多いね。

城本さん(以下、城) 確かに。株案案内など、硬いけど役に立つ”コンテンツが目立つ一方で、エンターテインメントコンテンツの陰が薄いと思う。もちろん、“役に立つ”コンテンツは重要なんだけど、どうせ僕たちがコンテンツを作るのならクレイジーなものをつくりたいよね。

石 まず「Vポータルが情報提供のプラットフォームだ」というような第1段階の考えは置いておいて、この音声というインターフェイスを活用してどう”遊ば”かを重視しながらアイデアを出していくといいと思う。

久松さん(以下、久) う～ん、僕はVポータルは”役に立つ”情報プラットフォームだ

という観点は重視したい。たとえば「翻訳Vポータル」というコンテンツがあって、電話に向かってしゃべった言葉をそのまま英語に訳してくれるようなものがあればすごく便利だと思う。

石 いや、それは正しいんだけどせっかくだからもうちょいファンキーにしようぜ! たとえば、犬の言葉を人間の言葉に訳してくれる「パウリンガル」の逆バージョンなんかどうよ? Vポータルに飼い主の声を吹き込ませて、それを犬語に訳してくれるコンテンツ。犬、大喜び! 一同

Vポータルを使うシチュエーションをもっと重要視しよう

品川さん(以下、品) でも、アイデアを出す前に、まずどんな人に、どんなシチュエーションで使ってもらおうのかをハッキリ認識する必要があるんじゃない? わたしなんか、

洋服を探すときにVポータルで、洋服の在庫情報がすぐに聞けるといい。人気ブランドの洋服の人気のラインはすぐなくなるから、「今あのお店に、あのブランドあのラインがある」という情報は、買い物に出かけている女の子には重要だと思う。つまり買い物をしているというシチュエーションに合わせたコンテンツを作っていけばいいんじゃないのかな。

久 確かに、今はまだ早いかもしれないけど。これからPOSと結びついたり、在庫情報のシステム化が進めば、そこもつながるよね。

富田さん(以下、富) わたしは就職活動中だから、たとえば「NTTコミュニケーションズの面接はこんなことを聞かれた!」というのを、面接を受けた人が吹き込んでくれて、それを聞けるコンテンツだったら絶対聴きたい! 「就職活動中」というシチュエーションに絞ってみたいんだけど、結構便利だと思うな。

石田さんと「ゆかいな仲間たち」

慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科在籍中の石田さんが、選びに選んだ外部プレーン。いろいろなアイデアが出るように、タイプの違う人たちを選出している。

城本祥次さん

石田さんの同期で、ゲームプランナーを卒業とする。ゲームのプロの視点からVポータルを厳しく切る。

富田杏里さん

品川さんと同じく、SFCの3年生。犬のためのVポータルコンテンツを作りたいとのことだが、犬は電話をかけられるのか?



石田剛朗さん

Vポータル開始直後、コンテンツのコンテストに応募するが、アイデアが先達過ぎて理解されず。今回「時代がオレに追いついた!」とリベンジをもくろむ。

久松慎一さん

石田さんの後輩で現役のSFC生。現在「村井純教授のインターネット基礎講座」にてインターネットを勉強中。かなりの釣りマニアでもある。

品川かおりさん

現役SFCの3年生。現在、絶賛就職活動中ということで、「学生の就職活動を助けるコンテンツ」を考え中だとか。

コレがみんなのアイデアだ！

ユーザーとコンテンツ提供者の垣根を破るコンテンツを作れ！

石 確かに、「就職面接情報」みたいにユーザーもコンテンツ提供者になれるのは重要な点だと思うね。電話だから一般の人でもコンテンツを挿入しやすい。やっぱりインターネットを使ったサービスの場合、コンテンツの運用など、スタートよりもスタートしてからのほうが難しいから、コンテンツが自動的に増えていくというスタイルは魅力的だな。

久 ユーザーがコンテンツの提供者にもなると言えば、やっぱり「釣り情報」でしょう。「河口湖のこの辺りが今当たっている!」とかの情報を、釣り人が吹き込んだり、聴いたりするコンテンツがいいよ。

城 音声でおもしろいものと言えば……、「ものまね王座決定戦」なんていいでしょ。ものまねに自身のあるユーザーが自分の十八番を吹き込んでいって、どんどんコンテンツが増えるようにすれば、下らないけど、おもしろくなると思う。

品 とにかく、無節操にアイデアを出していたら、まとまるものもまとまらない。とりあえず、みんな1つずつイチオシコンテンツのアイデアを出してみよう！



石田さんイチオシ!

「ゆみネエのVコンパ」

合コン女王「ゆみネエ」の合コンの秘訣をVポータルで紹介。もしくは合コンの際のパーティーゲームなどを教えてくれる。Vポータルでは「1人対CPU」というコンテンツが多いので、合コン会場でみんなで聞いて盛り上げられるようにしたい。



城本さんイチオシ!

「Vポータルモノマネ王座決定戦」

毎週、「ルパン」「森本レオ」などお題が出されて、そのモノマネをVポータルに吹き込むコンテンツ。ユーザーは、吹き込む人と、モノマネを聴いて審査する人のどちらにもなる。



久松さんイチオシ!

「AIBOとしゃべるVポータル」

AIBOはマイクで「ある決まった音」を拾うと、その音に反応して踊ったりする機能を持っている。この機能を利用して、Vポータルに「言葉」を録音すると、AIBOが反応する「音」に変換してくれる。それをAIBOに聞かせるサービス。



品川さんイチオシ!

「怖い話Vポータル」

昔、インターネットラジオを運営していたとき「怖い話」がキラーコンテンツだった。なので、いろんな人が「怖い話」を吹き込み、身近な怪談話だらけのVポータルを作る。シンプルだけどコンテンツの魅力だけで押し切れるはず。



富田さんイチオシ!

「ワンワン、レストランガイド」

「レストランガイド」といっても、ユーザーを犬の飼い主に絞ったコンテンツ。まずは、犬と一緒に入れるレストラン情報のコンテンツを提供。さらに犬と一緒にいけるいろいろな施設を紹介。犬好きは確実にアクセスするコンテンツ。

来目はアイデアを絞り込むぞ！
ここに出てきたアイデアのコールフローを作り、実際にコンテンツを完成させて、サービス開始まで持って行くべし！





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp